



## 来訪者の笑顔を見ることがうれしい

大澤達夫さん（西側区）

Osawa Tatsuo

エコパークは、自然豊かな公園です。植物や昆虫もたくさんいます。ザリガニを捕まえに来て楽しんでいる子ども、花を見ては笑顔になっている人たちを見ることがうれしいんですよ。ここは植物の成長過程や昆虫の生態系が勉強できる貴重な公園です。そんな魅力ある公園をいつまでも残していきたいですね。



## 人との出会いで新たな学びがある

川口廣司さん（新谷区）

Kawaguchi Hiroshi

仕事の都合で思うように活動に参加できませんが、ここへ来るとたくさんの学びがあるんです。大正時代から伝わるドンプチ染めや花の育て方などが勉強になりました。活動に携わっていなかったらこんな経験できなかったと思います。大勢の人とも知り合いになることができ、人のネットワークも増えました。



## 育てた花を見てくれることが張り合い

齋藤まつえさん（白浜区）

Saito Matsue

私は花が好きで、家で花を育てたり増やししたりしています。でも家の庭だけだと家族だけの楽しみになってしまいますよね。そこで、たくさん苗ができるとエコパークへ持ってきて植えています。大勢の人が、自分の育てた花を見て笑顔になってくれる。それがうれしい、張り合いにもなっています。



## 自然を生かした公園作りが楽しい

松下速雄さん（薄原区）

Matsushita Hayao

仕事で船に乗っていたこともあり、港に対して特別な思いがありました。自然と触れ合うことも昔から好きでね、子どものころは野山を走り回って遊んでいたものです。今こうして、港の近くにある公園を、たくさんの自然を生かして作り上げることに楽しさを感じています。

「思いだけで始めた作業も、やりだしたらとても楽しくなりました。活動初日は、とても達成感があったことを覚えています。今では、訪れてくれた人が自分の育てた花を見て、喜んでくれる姿を見ることが楽しみなんです。『花がきれいだね』と言ってももらえると、心の底からうれしくなります。それが、私のエネルギーになっていきますね。1時間でも時間が空くと、自然と公園へ足が向いています。作業中は、どうすればここへ来てくれた人が喜んでくれるか、考えながら作業しています。他の会員との会話も楽しみの一つ。いろいろな人の考え方も、生活する上で参考になっています。おかげで、思考が柔軟になりました。心が豊かになった気がします」

齋藤さん活動を活動へ突き動かしたのは、大好きな場所だからきれいにしたいという、単純な思いだった。でも、自分が育てた花によって、人が笑顔になってくれることにうれしさを感じた。会員同士の触れ合いが心の充実も生み出していた。自分自身がプラスに感じる部分がたくさんあるからこそ笑顔で続けられるのだ。



作業中も何気ない会話から笑みがこぼれる

## 作業をすることで得るものがある

ボランティア活動という、時間の制約を受けるし、作業も大変というイメージがある。しかし、藪田さんの話を聞くと、そんなマイナス面ばかりではないことが分かる。



笑顔の花が咲くのは作業中だけではない  
会員にとっては休憩のひとつも楽しみの一つ